

教科	国語科
5 学年	単元名『自分の考えを明確にして、ミニディベートをしよう』 授業実践・授業研修
日時	令和7年7月8日（火）
授業者	吉田 文香
本時のねらい	自分たちが話し合いをした時の資料を分析することを通して、ディベートに必要な力（事実や根拠をもとにした主張、相手の考えを聞き取り反論する力）に気付くことができる。
キーワード	話し合い、ミニディベート、主張、根拠、見方・考え方
授業の実際 （本時の子供の姿）	本時に向けて、AI とのくらしの利点と問題点について根拠をもって語れるように、ICT 機器を用いてそれぞれの立場から調べる時間を設けた。そして、メンバー構成に配慮した3人のグループで役割（話を聞いて考える・利点・問題点の役）を決めてミニディベートを行った。その際、IC レコーダーでミニディベートをしている様子を録音し、それを基に文字起こしをした資料を作成した。子供達は、資料を見て「全然、理由になっていない。」「何でこんなこと言ったのだろう。」と自分たちのミニディベートの内容を客観的に振り返ることができた。
事後協議の概要	以下の2点について協議した。1つ目は、教材についてである。話し方を学ぶために台本教材は、目的に応じて指導者が作るなどし、それを演じさせる（強弱・間・声の大きさ・抑揚・冷静さ）ことが重要である。その際、話し方について子供達に悪いところばかりでなく、いいところにも気付かせる必要があった。2点目は、論理についてである。説得力があることと論理的に話すことは同義ではないから、論理的とはどういうことなのか子供に定義を示す必要があるという指摘を受けた。

